

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[どのように新しいアプライアンスにコンフィギュレーション ファイルをインポートしますか。](#)

## 概要

置換が必要となるときこの資料に新しいアプライアンスに現在の Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) コンフィギュレーション ファイルをインポートする方法を記述されています。

## 前提条件

### 要件

Cisco は Cisco ESA のナレッジがあることを推奨します。

### 使用するコンポーネント

AsyncOS バージョン 7.1.x および それ 以降を実行するこの文書に記載されている情報は Cisco ESA に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

注 この資料はアプライアンスの両方が AsyncOS 同じバージョンを実行すると仮定します。

## 新しいアプライアンスにコンフィギュレーション ファイルをインポートする方法

現在のコンフィギュレーション コンフィギュレーション・ ファイルを保存するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. システム 管理 > 電流 ESA のコンフィギュレーション ファイルにナビゲートして下さい。

2. ファイルを表示するか、または保存するためにローカル コンピュータにファイルを『Download』を選択して下さい。
3. コンフィギュレーション ファイルの下でマスク パスワード チェックボックスのチェックを外して下さい。
4. 宛先を『SUBMIT』をクリックし、選択して下さい。

注 保存されるとして設定はマシン レベルとない水平なクラスタからある必要があります。クラスタ水平な設定はスタンドアロン機器に直接ロードすることができません。

メールが現在のアプライアンスをもはやフローしないように受信を中断するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. > 電流 ESA のシャットダウンされた /Suspend はシステム 管理にナビゲート します。
2. 一時停止する メール リスナー チェックボックスをチェックして下さい。
3. 託しますをクリックして下さい。

新しいアプライアンスにコンフィギュレーション ファイルをインポートするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. システム 管理 > 新しい ESA のコンフィギュレーション ファイルにナビゲート して下さい。
2. コンピュータからのコンフィギュレーション ファイルを『Load』を選択し、『Browse』をクリックして下さい。
3. 『Load』をクリックして下さい。